

第1学年 各教科等の年間学習計画と評価の観点および評価規準について

1年【国語】

学習内容	
1 学期	<p>いいてんき おはなしたのしいな あつまってはなそう えんぴつとなかよし どうぞよろしく なんていおうかな こんなものみつけたよ うたにあわせてあいうえお こえにだしてよもう ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび</p> <p>はなのみち としょかんへいこう かきとかぎ ぶんをつくろう ねことねっこ わけをはなそう おばさんとおばあさん くちばし おもちゃとおもちゃ あいうえおであそぼう おおきくなった</p>
2 学期	<p>おおきなかぶ はをへをつかおう すきなもの、なあに おむすびころりん としょかんとなかよし こんなことがあったよ こえにだしてよもう ききたいな、ともだちのはなし たのしいな、ことばあそび やくそく かたかなをみつけよう</p> <p>うみのかくれんぼ かずとかんじ くじらぐも しらせたいな、見せたいな まちがいをおおそう ことばをたのしもう かん字のはなし じどう車くらべ じどう車ずかんをつくろう かたかなをかこう ともだちのこと、しらせよう</p>
3 学期	<p>むかしばなしをよもう おかゆのおなべ ものの名まえ わらしべちょうじゃ 日づけとよう日 てがみでしらせよう こえに出してよもう ききたいな、ともだちのはなし</p> <p>たのしいな、ことばあそび たぬきの糸車 かたかなのかたち ことばを見つけよう どうぶつの赤ちゃん これは、なんでしょう ずうっと、ずっと、大すきだよ にているかん字 いいこといっぱい、一年生</p>
評価の観点	評価規準
知識・技能	・日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができる。
思考・判断・表現	・順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を身に付けるとともに、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。
主体的に学習に取り組む態度	・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとしている。
<p>〈評価について〉 ○ワークシートやノートなどの提出物、授業での発言内容、発表、少人数での話し合い活動、単元テスト（小テストを含む）、学習のまとめなどによって評価する。 ○学習の結果のみでなく、学習に取り組む態度や学習の過程も評価の要素とする。</p>	

1年【算数】

学習内容	
1学期	※くらべた こと が あるかな ※おおいのは どちらかな 1、なかまづくりと かず 2、なんばんめ ※どのように かわるかな ※かずを さがそう 3、あわせて いくつふえると いくつ 4、のこりは いくつちがいはいくつ 5、どちらが ながい 6、わかりやすくせいりしよう
2学期	7、10より おおきい かず 8、なんじ なんじはん 9、3つの かずの けいさん 10、どちらが おおい 11、たしざん 12、かたちあそび 13、ひきざん ※どんな けいさんに なるのかな？ ※けいさんびらみっど 14、おおきい かず
3学期	15、どちらが ひろい 16、なんじなんぷん ※ビルを つくろう 17、たしざんと ひきざん 18、かたちづくり ※1ねんの ふくしゅう
評価の観点	評価規準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての豊かな感覚を身に付けている。 加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
〈評価について〉 ○算数科で学習する内容の基礎となる概念や性質を理解し、算数の学習を進めていく上で必要な数 学的な処理や表現の基礎となる技能を習得しているか。 ○「数と計算」「図形」「測定」「データの活用」において必要に応じて具体物を操作しながら考 察したり、簡潔に表現したり、適切に判断したりしているか。 ○数量や図形に親しみをもち、それらに対する感覚を豊かにするとともに、算数を学ぶことのよさ や楽しさを感じながら学ぼうとしているか。 ○以上のことを單元ごとのテストやプリント、ノート、発表などを基に評価する。	

1年【生活】

学習内容	
1 学期	いちねんせいに なったら がっこうをたんけんしよう きれいなはなをさかせたい きせつとあそぼう -はるから なつ- 生きものとなかよくなる
2 学期	きれいなはなをさかせたい きせつと あそぼう -あき- じぶんで できるよ きせつと あそぼう -ふゆ-
3 学期	むかしから つたわる あそびを たのしもう もうすぐ 2年生
評価の観点	評価規準
知識・技能	・活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。
思考・判断・表現	・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	・身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとしている。
<p>〈評価について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○具体的な活動や体験、伝え合いや振り返りの中で、自分自身、身近な人々、社会及び自然がもっている特徴や本質的な価値、それぞれの関係や関連に気付くこと。 ○身近な人々や、社会及び自然と直接関わり合う中で、生活上必要な習慣や技能を身に付けること。 ○児童が自分自身や自分の生活について、学習活動により、分析的に考えること、創造的に考えること。 ○気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、多様な方法によって、他社と伝え合ったり、振り返ったりすること。 ○思いや願いの実現に向けて、身近な人々、社会生活及び自然に働きかけ、意欲や自身をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする事。 ○以上のことを単元ごとに総合的に評価する。 	

1年【音楽】

学習内容	
1 学期	<p>○うたって おどって なかよく なるう うたって なかよし セブン ステップス/チェツチェッコリ 校歌を歌おう ひらいた ひらいた</p> <p>○はくを かんじとろう さんぽ じゃんけんぽん なまえあそび/フルーツランド みんなで あそぼう</p> <p>○はくに のって リズムを うとう しろくまの ジェンカ かたつむり ぶん ぶん ぶん ことばで リズム うみ</p>
2 学期	<p>○みの まわりの おとに みみを すまそう おとを さがして あそぼう</p> <p>○どれみと なかよく なるう みつばちハニーの ぼうけん たのしく ふこう どんぐりさんのおうち どれみであいさつ なかよし/どれみふあその まねっこ ひのまる</p> <p>○せんりつで よびかけあおう やまびこ ごっこ まねっこあそび せんりつのまねっこ・おはなし こうしんきょく</p> <p>○がっきと なかよく なるう おとさがし さがしてみよう ならしてみよう シンコーペーテッド</p>
3 学期	<p>○ようすを おもいうかべよう きらきらぼし ほしぞらの おんがく はる なつ あき ふゆ</p> <p>○にほんの うたを たのしもう さんちゃんが/おおなみ こなみ おちやらか ほい</p> <p>○みんなで あわせて たのしもう あいあい とんくるりん ばんくるりん こいぬの マーチ ラデツキー こうしんきょく</p>
評価の観点	評価規準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。
<p>〈評価について〉</p> <p>○題材の表現や技能だけでなく、楽しく音楽活動に取り組んでいるかを評価の要素とする。</p> <p>○音楽表現を考え、どのように歌ったり、演奏したりするかなど、工夫している様子を学習カードや音楽活動を通して評価する。</p> <p>○友達との音楽活動を楽しみながら取り組んだり、音楽に対する様々な感じ方や考え方があることを認めたりする様子を評価する。</p>	

1年【図画工作】

学習内容	
1学期	すきなかたちやいろなあに かきたいものなあに ちよきちよきかざり すなやつちとなかよし ひもひもねんど みてみてあのね おってたてたら ぺったんコロコロ
2学期	ごちそうパーティーはじめよう！ カラフルいろみず いろいろなかたちのかみから ひらひらゆれて おはなしからうまれたよ かざってなにいれよう でこぼこはっけん！ はこでつくったよ のってみたいないきたいな ならべて ならべて
3学期	かみざらコロコロ すきまちゃんのすきなすきま いっしょにおさんぽ によきによきとびだせ うつしたかたちから
評価の観点	評価規準
知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通し気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせて材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりしている。
思考・判断・表現	・形や色などの感じを基に、自分のイメージをもちながら、造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りにある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。
主体的に学習に取り組む態度	・つくりだす喜びを味わい楽しく表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。
〈評価について〉 ○一人一人の活動の様子や作品の制作過程も評価の要素とする。 ○一人一人の見方や感じ方を感想文や自己評価、相互評価から読み取る。	

1年【体育】

学習内容	
1学期	<p>体ほぐしの運動遊び 多様な動きをつくる運動遊び（バランス・用具） かけっこ・リレー遊び 体力テスト</p> <p>走の運動遊び 跳の運動遊び 運動会にむけて 鬼遊び 水遊び・水泳学習における安全について</p>
2学期	<p>体ほぐしの運動遊び 多様な動きをつくる運動遊び（バランス・用具） 鬼遊び 走の運動遊び（リレー）</p> <p>ゲーム（ボールゲーム）鉄棒を使った運動遊び マットを使った運動遊び 多様な動きをつくる運動遊び</p>
3学期	<p>走の運動遊び 多様な動きをつくる運動遊び（バランス・移動・用具・力試し） 跳び箱を使った運動遊び</p> <p>固定施設を使った運動遊び 鬼遊び ボールけりゲーム 表現リズム遊び</p>
評価の観点	評価規準
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付けている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動遊びの行い方を工夫するとともに、考えたことを他者に伝える力を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動したり、健康・安全に留意したりして、意欲的に運動しようとしている。
<p>〈評価について〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動遊びの基本的な動きの他に、学習活動を通して、学びに向かう力、思考力、判断力、表現力を評価する。 ○学習カードを用いて自分の学習を振り返ったり、行った工夫を見つけたりする自己評価や、友達同士の相互評価も評価の要素とする。 ○約束を守り、助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場の用具や安全に気を配ったりする様子を観察して評価する。 	

1年【特別の教科 道徳】

学習内容	
1学期	<p>よりよい学校生活 集団生活の充実 節度、節制 礼儀 友情、信頼 善悪の判断、自律、自由と責任</p>
2学期	<p>個性の伸長 生命の尊さ 節度、節制 規則の尊重 正直、誠実 家族愛、家庭生活の充実</p>
3学期	<p>自然愛護 生命の尊さ よりよい学校生活、集団生活の充実 公正、公平、社会正義 善悪の判断、自律、自由と責任 友情、信頼 感謝</p>
1学期	<p>希望と勇気、努力と強い意志 公正、公平、社会正義 親切、思いやり 感動、畏敬の念 礼儀 親切、思いやり 勤労、公共の精神</p>
2学期	<p>個性の伸長 規則の尊重 正直、誠実 感謝</p>
3学期	<p>家族愛、家庭生活の充実 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度 国際理解、国際親善 生命の尊さ 希望と勇気、努力と強い意志</p>
評価の視点	評価規準
年間を通した大きくくりなまとまりをふまえた評価	・道徳科の目標「道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習」を実現している。
特に顕著と認められた内容項目の評価	・「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度」の観点で大きな成長を個人内評価として認めることができる。
<p>〈評価について〉</p> <p>○児童が学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を適切に設定しつつ、学習活動全体を通して見取り、記述により評価する。</p> <p>○授業中の発言や話し合いの様子、ノートやワークシート、コミュニケーションツールへの記述などをもとに肯定的な評価をする。</p> <p>○学校での日常的な生活や学習に道徳の授業で学んだ成果が認められる場合は、積極的に評価へ取り入れる。</p>	